

製剤設計学講座

Pharmaceutical Technology

客員教授 大貫 義則 Yoshinori Onuki
客員助教 林 祥弘 Yoshihiro Hayashi

◆ 著 書

- 1) 徳高平蔵, 大北正昭, 大藪又茂. 医療・医学・薬学における SOM の応用. 東京: 海文堂出版; 2015. 第 18 章, 固形製剤の開発; p. 168-76.

◆ 原 著

- 1) Onuki Y, Hasegawa N, Kida C, Ikegami-Kawai M, Shirozu S, Obata Y, Takayama T. Supersaturated state of diazepam injection following dilution with infusion fluid. *J Pharm Health Car Sci*. 2015 Mar; 1: 9.
- 2) Yamamoto Y, Fukami T, Koide T, Onuki Y, Suzuki T, Katori N, Tomono K. Studies on uniformity of the active ingredients in acetaminophen suppositories re-solidified after melting under high temperature conditions. *Chem Pharm Bull*. 2015 Apr; 63(4): 263-72.
- 3) Onuki Y, Funatani C, Yokawa T, Yamamoto Y, Fukami T, Koide T, Obata Y, Takayama K. Magnetic resonance imaging of the phase separation in mixed preparations of moisturizing cream and steroid ointment after centrifugation. *Chem Pharm Bull*. 2015 May; 63(5): 377-83.
- 4) Onuki Y, Machida Y, Yokawa T, Seike C, Sakurai S, Takayama K. Magnetic resonance imaging study on the physical stability of menthol and diphenhydramine cream for the treatment of chronic kidney disease-associated pruritus. *Chem Pharm Bull*. 2015 Jun; 63(6): 457-62.
- 5) Inoue Y, Iwazaki Y, Onuki Y, Funatani C, Murata I, Kanamoto I. Examination of gelling agents to produce acetaminophen jelly. *Chem Pharm Bull*. 2015 Jul; 63(7): 519-24.
- 6) Onuki Y, Hasegawa N, Horita A, Ueno N, Kida C, Hayashi Y, Obata Y, Takayama K. Self-organizing Map Analysis for Understanding Comprehensive Relationships between Formulation Variables, State of Water, and the Physical Stability of Pharmaceutical Emulsions. *Chem Pharm Bull*. 2015 Nov; 63(11): 901-6.
- 7) Ootoguro S*, Hayashi Y, Miura T, Uehara N, Utsumi S, Onuki Y, Obata Y, Takayama K. Numerical Investigation of the Residual Stress Distribution of Flat-Faced and Convexly Curved Tablets Using the Finite Element Method. *Chem Pharm Bull*. 2015 Nov 1; 63(11): 890-900.

◆ 学会報告

- 1) 赤木千夏*, 小幡誉子, 大貫義則, 高山幸三. 角層細胞間脂質の構造変化を利用した製剤成分の吸収促進機構の解明. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.
- 2) 清水哲平*, 今西 祐, 西口純也, 総田長生, 西村順二, 大貫義則, 小幡誉子, 高山幸三. EGO 技術を用いた追加実験点の効率的探索: アセトアミノフェン錠での検討. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.
- 3) 岡田信人*, 乙黒沙織, 三浦孝広, 大貫義則, 小幡誉子, 高山幸三. 有限要素法による割線錠の分割強度シミュレーション. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.
- 4) 角張智美*, 森井愛理, 乙黒沙織, 大貫義則, 小幡誉子, 高山幸三. 感圧発色カプセルを用いた錠剤表面の密度分布の計測. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.
- 5) 黄田千尋*, 大貫義則, 小幡誉子, 高山幸三. MRI を利用した製剤物性評価: エマルション製剤の製剤安定性における増粘剤の影響. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.
- 6) 鮎谷千明*, 大貫義則, 山本佳久, 深水啓朗, 小出達夫, 余川 隆, 小幡誉子, 高山幸三. MRI を利用したステロイド軟膏と保湿クリームの混合製剤の製剤安定性評価. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.
- 7) 長谷川直毅*, 大貫義則, 堀田敬紘, 中室奈緒美, 小幡誉子, 高山幸三. エマルション製剤の製剤安定性に対する薬物塩の影響. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.
- 8) 町田昌明, 大貫義則, 遠藤佳奈, 清家千江子, 小幡誉子, 櫻井正太郎, 高山幸三. MRI を用いたメントール・ジフェンヒドラミン含有クリーム製剤の製剤安定性評価. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.

- 9) 乙黒沙織*, 上原直人, 岡田信人, 梅村昌史, 大貫義則, 小幡誉子, 高山幸三. CAE シミュレーションによるステイキング現象の解析. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.
- 10) 上原直人*, 湯汲省吾, 島田泰拓, 國次真輔, 大貫義則, 小幡誉子, 高山幸三. 新規処理杵の表面特性がステイキング現象に及ぼす影響. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸.
- 11) 小幡誉子, 赤木千夏, 太田 昇, 大貫義則, 高山幸三. 薬物の皮膚透過性と処方成分配合量および皮膚表面構造変化の関連. 日本薬剤学会第 30 年会; 2015 May 21-23; 長崎.
- 12) 松本智徳*, 上原直人, 大貫義則, 小幡誉子, 高山幸三. アセトアミノフェン含有オーバル錠の調製における工程変数の最適化. 日本薬剤学会第 30 年会; 2015 May 21-23; 長崎.
- 13) 根本 遥*, 乙黒沙織, 岡田信人, 大貫義則, 小幡誉子, 高山幸三. 楕円錠の処方最適化と信頼性評価. 日本薬剤学会第 30 年会; 2015 May 21-23; 長崎.
- 14) 大貫義則. Quality by Design を指向した製剤化研究. フォーラム富山「創薬」第 41 回研究会; 2015 May 28; 富山.
- 15) 林 祥弘, 黄田千尋, 鮎谷千明, 町田昌明, 高山幸三, 大貫義則. MRI を利用した製剤物性評価: 院内製剤メントール・ジフェンヒドラミン含有クリーム of 製剤安定性. フォーラム富山「創薬」第 41 回研究会; 2015 May 28; 富山.
- 16) 小幡誉子, 赤木千夏, 太田 昇, 大貫義則, 高山幸三. 製剤成分の皮膚刺激性と細胞間脂質の構造変化の関連. 第 40 回日本香粧品学会; 2015 Jun 18-19; 東京.
- 17) 黄田千尋*, 大貫義則, 小幡誉子, 高山幸三. MRI を利用したエマルジョン化粧品の乳化状態の評価. 第 40 回日本香粧品学会; 2015 Jun 18-19; 東京.
- 18) 林 祥弘, 高山幸三, 大貫義則. 顆粒の粒子径が DPC モデルおよび錠剤内残留応力分布に及ぼす影響. 第 32 回製剤と粒子設計シンポジウム; 2015 Oct 22-23; 豊橋.
- 19) 林 祥弘, 大貫義則. 錠剤の材料力学的性質と残留応力分布の関連性. 日本薬学会北陸支部会第 127 回例会; 2015 Nov 15; 富山.
- 20) 山本佳久, 久米谷萌水, 大貫義則, 深水啓朗, 小出達夫, 鈴木豊史, 伴野和夫. W/O 型保湿クリーム製剤と副腎皮質ステロイド外用剤からなる混合物の保存安定性に関する研究. 第 25 回日本医療薬学会年会; 2015 Nov 21-23; 横浜.